

情報技術科を紹介するホームページの制作

東 雅人 林 総一郎
平松 翔太 藤本 健太

1. 研究概要

岡山工業高等学校情報技術科について紹介する Web サイトを制作する。ホームページを制作していく中で、ホームページについての知識を向上させる。在校生や、保護者の方々、進学しようと考えている中学生の皆様情報技術科の魅力を最大限に伝えられるホームページを制作する。

完成したホームページは共愛学園前橋国際大学で開催されている高校生ホームページコンテスト応募して、実力を図るとともに情報技術科の良さを詰めこんだホームページを様々な人に見てもらおうことを目的とする。

2. 研究の具体的内容

情報技術科を紹介するホームページを作るにあたって留意した点を以下にまとめる。



図 1 完成した情報技術科のページ

① ホーム (トップページ)

上記の写真は、5 秒毎に写真が切り替わり、良い雰囲気なのを知ってもらうので親しみを持たせる情報技術科の生徒の写真の写真をトップページに配置した。

また, google カレンダーを用いたので岡工の行事予定が確認できる利便さを図った。

② 情報技術科紹介

情報技術科の他の科と違いや, どのようなことをするかなどを記載した。

③ 時間割

本年度の時間割を載せた。

専門教科は赤字, 普通科選択教科は緑字にした。

④ 学習内容

専門科目の詳しい説明を載せていった。私たちのコメントも書いた。

⑤ 進路状況

過去 3 年間の岡工生の進路状況を紹介するページ。

就職した企業や進学した専門学校・国立大学を人数別に紹介した。

⑥ 資格取得

3 年間の中で取得できる資格や検定を紹介するページ。

授業で学び受験する検定を主に紹介した。

⑦ 先生紹介

情報技術科の先生の紹介をするページ。集合写真を撮り, 紹介文を見たい先生を個別にクリックすることで個人のページに飛ぶことができる。

⑧ 制作者紹介

ホームページを制作した課題研究メンバーを, 写真や一言メッセージを添えて紹介するページ。

3. ホームページにおいて工夫した点

HTML のプログラミングでは Web 上のページに様々な工夫を加える事ができるので, ネット

画像の範囲を選択する時には座標を使うので、座標を知るためにペイントを用い図7のようにした。



図7 座標の説明

例として `coords="7, 34, 116, 388"` と設定する。

7, 34 は四角形の左上の x, y 座標を、116, 388 は右下の x, y 座標を表す。これによって、クリックできる範囲を指定した。そして、クリックするとその画像にあった「先生の詳細」に移動できるようにした。

(4) 生徒目線のコメント

専門教科の紹介では概要を書き生徒目線のコメントと言うことで、私たちが経験してきた感じたことを図8のように記載した。



図8 学習内容

4. 各自の感想

東 雅人

今回の Web ページの制作は、自分たちの科を紹介するにあたって、我々、生徒にしかわからない情報などを記載していくことにした。また、ページを見やすくするようにすることに努力した。例えば写真に乗っている先生をクリックすると、その先生の詳細が見えるようなものを作った。

正直これを作るが一番時間と手間がかかり、正常に作動するようになった時はとても達成感があり、それが来るとともに疲労感もあった。

今回の課題研究で身についた技術を将来に生かしていきたいと思う。

林 総一郎

今の岡工のホームページだけでは科の特色など詳しい情報を伝えるのには限界があると思う。そこで在校中の生徒からの目線で Web ページを作り、岡工の情報技術科でしか

できないことを伝えたいと思い、ホームページ制作に取り組んだ。実際の写真や、意外な学習内容など入学してからでない分からない情報をたくさん取り入れた。視覚的なものには特に力を入れ、見やすく、使いやすいものを作ることができたと思う。

平松 翔太

2年生の時の選択実習でもホームページ制作の班に入っており、その時ホームページ制作に興味を持ち岡工の情報技術科紹介をし、3年生の課題研究でも制作することにした。

先生紹介や時間割などのページを作っていく中でより科のことを知ることができた。前回のホームページでの反省点を生かし、制作することでよりいい作品が仕上がったと思う。これから、このような機会があれば携わっていきたい。

藤本 健太

この課題研究は HTML を使いホームページの基礎を学ぶということをメインにした。いつも自分たちが何気なく使っているホームページを自分たちで制作するというのは、授業とは違った面白さがあった。HTML は実習の授業で学んだ事があるが、自分達でレイアウトなどの美しさや独創性を求めたので、ソースコードの入力にはとても苦勞した。

自分の中で、大きな成長になった。

5. 研究のまとめ

最終的には皆が納得するようなホームページが制作できたが、最初の頃は目標が定まらず困っていたが目標が決まってからはその苦勞さえも楽しんで取り組むことができた。

この課題研究でホームページに関する知識や技術はまだまだ勉強が足りない面があるが、4月の頃よりはかなり向上したと思っている。

反省点としては

- ・とりかかりが遅かったこと
- ・作業進度が遅かったこと
- ・当初の自分たちが作りたいホームページからかなり道が外れてしまった

等たくさんありますが、今回の経験を糧に新しい目標へ向かってがんばっていきたいと思う。

6. 参考文献

- ・とほほの WWW 入門

<http://www.tohoho-Web.com/www.htm>

- ・イメージマップの作り方

<http://allabout.co.jp/gm/gc/23823/2/>